

小麦(さぬきの夢2009)ふすま を用いた肉用讃岐コーチン の特徴づけについて



香川県畜産試験場
養鶏担当
平成27年2月25日



H26研究談話会

背景と目的



新「讃岐コーチン」の特徴

- ▶ 旧タイプより**増体性**に優れる
- ▶ 旧タイプより**むね肉歩留り**改善
- ▶ ジューシーで**やわらかな**むね肉
- ▶ むね肉の**抗疲労物質** (イミダソールジペプチド)が豊富



新「讃岐コーチン」の問題点

- ▶ 体重過大
- ▶ 腹腔内脂肪が多い



これらの問題
解決のために、
新しい**素材**を飼料に
利用できないか？

課題解決のための素材の条件

- ▶ **安価**である
- ▶ 腹腔内**脂肪蓄積を抑制**できる
- ▶ **香川らしい特徴**のあるもの


「さぬきの夢2009」小麦ふすま

「さぬきの夢2009」

- ▶ 香川県が開発したうどん用小麦
- ▶ 香川県のみで生産
- ▶ 製粉過程で取り除かれる外皮(ふすま)は安価で、カロリーが少ない。




給与試験




給与試験の概要

- 供試鶏：肉用讃岐コーチン
15羽/区 2反復 (♂♀別飼養)
- 試験期間：平成26年4月23日～7月15日
(12週間)
- 試験区：50%ふすま代替区 (通常飼料を代替)
30%ふすま代替区
通常飼料区 (対照区)



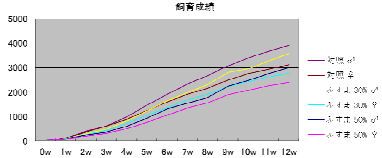
試験結果



(1) 体重 (試験終了時)

- ふすま代替量が多くなるほど、増体重を抑制する

	体重(g)
ふすま 50%区	♂ 2,997 ♀ 2,387
ふすま 30%区	♂ 3,572 ♀ 2,765
通常飼料区	♂ 3,906 ♀ 3,114



(2) 飼料要求率 (♂♀平均)

- ふすまを避けて選り食いをするため、溢しが多く、試験区では飼料要求率が高くなる
- しかし、ふすま価格が安いいため、飼料費は抑えられる

	飼料要求率	1羽あたりの飼料費(円)
ふすま 50%区	3.43	551
ふすま 30%区	3.29	773
通常飼料区	2.87	978

(3) 歩留り率 (♂♀平均)

- ふすま代替給与により、腹腔内脂肪率が減少

	もも肉 (%)	むね肉 (%)	腹腔内脂肪 (%)
ふすま 50%区	18.9	13.8	1.4
ふすま 30%区	19.7	14.6	2.2
通常飼料区	19.2	15.7	2.3

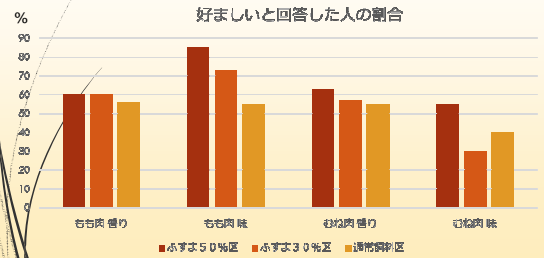
肉質検査 (むね肉、♂♀平均)

- ふすま給与で、よりジューシーで、柔らかいむね肉になる

	加熱損失 (%)	圧搾肉汁率 (%)	破断応力 (E+07 N/m ²)
ふすま 50%区	19.88	48.44	4.85
ふすま 30%区	19.76	47.60	6.02
通常飼料区	20.19	45.34	6.70

食味官能検査

- ふすま給与区の鶏肉は、香りも味も好まれる傾向



n=14

試験の成果

- ふすま代替の飼料給与は肉用讃岐コーチンの課題である、**腹腔内脂肪量と過大体重を抑制**
- 飼料費を抑えることで生産コストを低減
- 香川の特産である「さぬきの夢2009」小麦ふすまを給与することで、**高付加価値化**が期待できる。

消費者がもとめる 肉用讃岐コーチンの生産へ

